

北九州市のふるさと自慢をしよう①

本市の魅力や歴史・文化について、英語を使って話す活動をとおして、郷土への「愛着」や「誇り」をもてるようにします。

【目標】まちの魅力をもっと伝えられるようになるために、英語で北九州市ふるさとかるたに取り組むことができる。

取組時間の目安	45分
表現例	I got it. / I want to read. / Do you want to try? / I want to try. / Listen to me. / Let's count. How many? / I have five (数). / I like Kokura castle.
留意事項	英語で北九州市ふるさとかるたに取り組む前に、日頃から日本語でかるたで遊ぶ機会を設けるとよい。

流れ		準備物
導入	児童	1. かるたに関するHRTとALTの対話を聞いて、その内容を聞き取ります。 2. かるたのやり方の説明を聞いてから、机を班にし、かるたを机上に広げて準備をします。
	HRT・ALT	1. かるたの中から、好きなものを選び、それについて簡単にやり取りをします。 ALTが北九州市について知っていることを話すなど、児童の興味・関心を引き出すようにします。 2. かるたについて、日本語でやり方を説明します。
展開	児童	1. 読まれた英語を聞いて、絵札を取ります。 2. 最後の4枚になったら、自分の絵札の数を数えます。
	ALT	1. まず読まない4つの札を選んで除いておきます。 2. 英語でかるたの読み札を読みます(児童の様子を見ながら繰り返したり、読む速さを調節したりします)。
	児童	1. 読まれた英語を聞いて、絵札を取ります。 2. 最後の4枚になったら、自分の絵札の数を数えます。 ※ 読み手に立候補してもよい
	ALT	1. まず読まない4つの札を選んで除いておきます。 2. 英語でかるたの読み札を読みます(児童の様子を見ながら繰り返したり、読む速さを調節したりします)。 3. 読み手を募ります。 4. 児童が読み札を読むのをサポートします。
	HRT	各グループを回って、必要な助言をします。
まとめ	児童	かるたの感想や、これから紹介したい北九州市の場所やものなどについて発表します。
	HRT	児童の発表を聞いて、次の活動の参考にします。

導入でのやり取り例

ALT: I went to Mt. Sarakura last Sunday. I enjoyed the view from the top. It was so beautiful.

HRT: Oh, that is good. Did you go there in daytime or at night?

ALT: I went there in daytime.

HRT: The view is beautiful at night, too.

ALT: I see. I'll try next time.

北九州市のふるさと自慢をしよう②

本市の魅力や歴史・文化について、英語を使って話す活動をとおして、郷土への「愛着」や「誇り」をもてるようにします。

【目標】〇年〇組北九州市ふるさと自慢コンテストをするために、北九州市ふるさとかるたに出てきた場所やものなど、まちの自慢したい事柄について英語で話すことができる。

取組時間の目安	45分
表現	This is my city, Kitakyushu. / I like ○○. / ○○ is popular. / I live in ○○. / We have ○○. (6年生の教科書 You can do it! 「Me on the Map」を作って日本の紹介をしよう) で使った表現を想起させるのもよい)
留意事項	・本時の活動に取り組む前に、北九州市ふるさとかるたで北九州市の自慢の場所やものについて広く知るようにする。 ・ふるさと自慢をする相手は、ALTや他小学校の児童、地域の留学生など学校の実態に合わせて設定し、相手意識をもつようにする。

流れ		準備物
導入	児童	1. HRTとALTの対話を聞いて、北九州市ふるさとかるたのことを思い出したり、質問をしたりします。
	HRT・ALT	1. かるたの中からいくつか好きな札を選んでおき、それについて互いに紹介し合う様子を児童に見せます。 2. 互いの紹介を聞いて、指導者どうして質問をし合ったり、児童からの質問を引き出したりします。
展開	児童	1. ふるさとかるたの中からそれぞれが好きな札を2～3枚選びます。 2. 選んだ札について英語でどんなふうに紹介したらよいか考えます。 3. ペアの児童と互いに紹介し合います。 4. 言いたかったけどうまく言えなかったことについて、どう言ったらよいか、学級の友だちやHRT、ALTと一緒に考えます。 5. もう一度ペアを変えて互いに紹介し合います。
	HRT・ALT	1. グループにひとつ北九州市ふるさとかるたを渡します。(またはGIGA端末を使って、ホームページ「北九州市ふるさとかるた」から読み句の紹介を開くよう伝えます) 2. ペア活動で児童が英語でうまく表現できなかったことについて中間指導を行います。 3. 必要に応じて、読み札の英語を参考にさせるなど、各グループをまわって、必要な助言をします。
	児童	1. ペアの人に紹介した札の中から自分のお気に入りの1枚の札を選びます。 2. グループのパワーポイントを開き、順番を決めて紹介用のスライドを作成します。(写真やイラスト、簡単な単語などを一枚のスライドに入れる) 3. グループで互いにスライドを見て、アドバイスし合います。
	HRT・ALT	各グループを回って、必要な助言をします。
まとめ	児童	言えるようになったことや、紹介するために英語で言いたいことなどについて振り返ります。
	ALT	今日の児童の活動についてのコメントと、次の時間を楽しみにしていることを伝えます。
	HRT	次の時間の予告をします。

北九州市のふるさと自慢をしよう③

本市の魅力や歴史・文化について、英語を使って話す活動をとおして、郷土への「愛着」や「誇り」をもてるようにします。

【目標】〇年〇組北九州市ふるさと自慢コンテストを行い、北九州市ふるさとかるたに出てくる場所や事柄、そのほかのまちの魅力を発見し、さらにまちに愛着をもつことができる。

取組時間の目安	45分		
表現	This is my city, Kitakyushu. / I like ○○. / ○○ is popular. / I live in ○○. / We have ○○. (6年生の教科書 You can do it! 「Me on the Map」を作って日本の紹介をしよう」で使った表現を想起させるのもよい)		
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと自慢をする相手は、ALTや他小学校の児童、地域の留学生など学校の実態に合わせて設定し、相手意識をもつようにする。 ・ふるさと自慢をする相手から、「北九州市のことを知りたいな」というメッセージや、相手のふるさとの自慢などを動画等で準備しておく。 		
流れ		準備物	
導入	児童	<ol style="list-style-type: none"> 1. ふるさと自慢をする相手からのメッセージを聞きます。 2. 教科書巻頭のいつも「たいせつ」(コミュニケーションのポイント)を確認します。 3. ウォームアップを兼ねてグループで練習を行います。 	
	HRT・ALT	<ol style="list-style-type: none"> 1. メッセージを聞いたあと、児童の理解を確認するためにメッセージの内容について、英語や日本語で児童とやり取りを行います。 2. 発表を楽しみにしている気持ちや、あやまりを気にせず発表してほしいことなど、心構えを伝えます。 3. 各グループを回って必要な助言をします。 	ふるさと自慢をする相手からのメッセージ
展開	児童	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分のグループの番になったら、前に出て発表をします。 2. 他のグループの発表を聞きながら、リアクションをしたり、質問をしたりします。 	GIGA端末 作成したスライド資料
	HRT・ALT	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各グループの発表を聞きます。 2. グループのスライドをテレビ画面に表示するサポートをします。 3. 各グループ終了後に、内容について児童から質問を引き出したり、質問をしたりします。 	
まとめ	児童	友だちの発表をきいて、内容や、英語についてよかったところや、次に使ってみたい英語や工夫したいことなどについて振り返ります。	振り返りシート(- -)
	ALT	今日の児童の活動についてのコメントと、発表へのお礼を伝えます。	
	HRT	頑張りを称賛したり、内容や英語のよかったところなどについて伝えます。	

児童の発表例

例	<p>※ スライド資料を提示しながら</p> <p>児童A Hello. We want to talk about Foods in Kitakyushu. We have many delicious foods. I like Kokura beef steak. Kokura beef steak is delicious. I want to eat it now!</p> <p>児童B Next, I want to tell you about Kashiwa meshi. You can get Kashiwa meshi bento at Orio station. I want to eat udon, too.</p>
---	--